

【説明事項】

- (1) 新型コロナウイルス感染症の現状について（説明者：福祉保健部長）
- (2) 県の新たな対策について（説明者：財政課長）
- (3) これまでの取組と今後の雇用対策の方向性について（説明者：宮崎労働局長）

【意見交換】

発言概要のとおり。

| 発 言 者                     | 発 言 概 要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 九州財務局宮崎<br>財務事務所<br>宮浦所長  | <p>四半期ごとの経済情勢を発表しているが、4月末は新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にある中、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。</p> <p>政策金融公庫等では実質無利子無担保の融資をしているが、年末まで延長した。地方で収入が減っており、その対抗措置として減収補填債による資金の貸し付けを5月26日に実施している。</p> <p>ワクチン接種が開始されているが、ワクチン接種やPCR検査会場の駐車場、荷物置き場等として全国17箇所の国有財産を無償で提供している。宮崎ではまだないが、いつでもご相談いただければ調整可能。</p> <p>コロナ渦における事業者支援のノウハウを共有するために、6月14日にセミナーを開催する。申込期限は過ぎているが、オンライン上であればまだ参加可能であるため、ぜひ申し込みを。</p> |
| 宮崎県経営者協会<br>平野会長          | <p>ワクチン接種が順調に進んでいること及び経済対策に感謝申し上げる。</p> <p>要望としては、ワクチンを積極的に打ってほしいが、一方で何らかの理由で接種したくてもできない方も中にはいると思うので、このような方々に差別が起きないように行政側にも配慮をお願いしたい。</p> <p>また、経済対策は将来の若い世代への負担になることから資金配分されるようお願いしたい。</p>                                                                                                                                                                                      |
| 宮崎県銀行協会<br>杉田会長           | <p>昨年末までに融資したものの6割が整理期間1年の融資であり、先月から返済が始まっている。経済状況を勘案すると飲食業を中心に返済が難しくなっている方々が出てくると思われるので、可能な限り整理期間の延長など条件を変更していくつもりではあるが、条件変更になると事業者の方に対して今まで無料であった保証料が有料となってしまうため、減額や補助等を検討頂きたい。</p>                                                                                                                                                                                             |
| 宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合<br>有田理事長 | <p>私ども宿泊業界は、現在、非常に厳しい状況の中にある。2月のキャンプも、5月の連休もコロナの影響で県内からもキャンセルが相次いだ。この事態を好転させるにはワクチン接種を加速化するしかない。</p> <p>また、固定資産税の一部減免いただき、非常にありがたい。</p> <p>さらに、ジモ・ミヤ・タビキャンペーン等様々な支援をいただき感謝している。県外からはまだ来られないと思うので、県内の方に宿泊いただくため、感染状況次第ではあるが、ジモ・ミヤ・タビキャンペーンは早急に開始していただきたい。また、販売期間の年内までの延長をお願いしたい。</p>                                                                                               |
| 宮崎県バス協会<br>川端会長           | <p>初めに、昨年度から貸し切りバス等の感染防止のための支援をいただき感謝申し上げます。県内の貸し切りバス事業者は29社あったが、今年度4社、昨年度1社と合計5社が事業廃止もしくは休業した。</p> <p>また、宮崎県バス協会に加盟している台数が355台から50台減少して、305台と</p>                                                                                                                                                                                                                                |

なっている。5、6月の修学旅行が延期になっているので、今後ワクチン接種が進んでくると、11月頃は日程次第ではバスが足りなくなるのではないかと考えている。協会としては、そのような事態が起きないように調整していきたい。今回の緊急事態宣言だが、7,000万円の損失となり、路線バスの2020年度の利用者数は260万人減の660万人の利用だった。

一方、関西圏の5つの学校から修学旅行に関する引き合いがあった。ワクチン接種がある程度進むと海外には行けないけど、国内にならという機運になった際、宮崎に目を向けてもらうために何かできないかと考えているところ。その際はぜひ、県と協力して進めていきたい。

宮崎県飲食業生活衛生同業組合  
古澤副理事長

コロナ禍の間、会食が原因と言われ続け、対策もほとんど会食に集中している。今日も弁当仕出しから要望があったが、同じ飲食業であるのに30~50%売上げが落ちているのに協力金が出ていない。こういったところが数多くあるので、ここももう少し支援いただけるとありがたい。

また、50%という条件があるため皆申請も難しいという状況がある。通常時なら問題ないと思うが、このような状況が1年以上も続いて、今後もすぐ回復する見込みもないのに50%という線引きはどこからか。

また、接待についても集中して対策をすればクラスターは発生しないのではないか。

また、組合員から自分たちは休業しているのに、昼からカラオケをしている店はどうにかならないのかと言われる。このような店に対して、条例か何か強めの措置を取ることはできないのか。必ず会食が原因ということで、テレビ報道等でもあるが、「接待を伴う会食」という言葉に違和感がある。この意味を正しく理解していない方が多く、「接待をまだやっている会社があるのか」と言われる。意味をもう少しわかりやすく説明していただきたい。

また、マスク会食と言われるが、実際にマスク会食をきちんと行っている場面を報道等で見たことがない。実際にされているお客さんを見たこともない。そういった部分をもう少ししっかりと見せる必要がある。

財政課長

前半の事業者支援について、例えば仕出しの関係等そういった事業者にも支援が届くように検討して参りたい。

また事業者支援の50%という点だが、一定の考え方で設定しているが、地域に応じて市町村等との連携、役割分担の中でご指摘を踏まえ、引き続き検討してまいりたい。

福祉保健部長

後半の接待を伴うお店の対策や、昼間からのカラオケ・飲食の対策等は大変重要なご指摘である。感染のリスクについても、マスクを外して話をする機会ということで、昼も夜も関係ないと思っている。昼間に飲んで騒いだりするのも非常に危険だということをしっかりと発信して参りたい。

それから、マスク会食がまだまだ浸透していないと感じているので、引き続き、県民の方々に、あらゆる機会を通じてマスクを外して、会食をする、あるいは会話をするといったリスクをしっかりと周知して参りたい。

宮崎県商工会連  
合会  
淵上会長

経済を回すためにはワクチンしかないと考えている。

先ほどの説明で65歳以上の高齢者への接種等を進めておられるが、人流を止めなければこのウイルスの感染拡大は止められないだろうと言われているので、人流を止めるとなると若い世代への接種も併行して進めて行くべきではないか。こ

これは、医療、企業等も含めて一緒になってやるべきだろうと思い、商工会の方でもアンケートを実施した。その中で、ワクチン接種を早く完了するために、バス巡回による集団接種など、抜本的な対策が必要ではないかとの意見があった。市町村の公民館単位ぐらいであれば、人を集めるのではなく、バスで巡回しながら接種した方が早いのではないかと思う。その方が密にもなりにくいのではないか。

また、職域接種というこで職場や大学等での接種も進みつつあるところなので、その地域に応じて工夫しながらワクチン接種を進めていく必要がある。

宮崎県中小企業  
団体中央会  
堀之内会長

先日経済3団体で、知事に陳情させていただいた中に、PCR検査の充実をお願いしたわけだが、早速それを実行していただき、感謝申し上げる。

また、公共交通機関に対する支援も我々団体としてもありがたい。ワクチン接種が進み始めた中で、コロナが収束した後どうなるのかということも考え始めてもいいのではないか。その一つとして、例えば修学旅行。今は県内を回ろうという動きだが、実際コロナが収束した時果たして、県内を回ろうという動きが続くのか。私はこれまで言い続けてきたが、怪我の功名というか、コロナで実現した。これが、今後も続くようにぜひ、お願いをしたい。

宮崎県農業協同  
組合中央会  
福良代表理事会  
長

農業分野では昨年度と比較すると感覚的には良くなったと思うが、高額な商品、中でも果実や宮崎牛などについては影響が続いている。特に昨年度は地産地消の関連で、農畜産物の消費拡大は各関係機関の皆様にご協力いただき、感謝申し上げます。

本日の資料にも「ジモ・ミヤ・ラブ」というのがあるが、JAグループも現在、国民が必要とするものは国で生産しましょうという、「国消国産」という表現で取り組んでいる。農産物のみならず地元で使うものは地元製品を使うということが大事だと思う。

また、いろんな形で支援策を打ち出しているが、観光や宿泊、飲食業等これらを担う業界に対する支援も我々農畜産業にも繋がってくるので、引き続き支援をお願いしたい。

宮崎県漁業協同  
組合連合会  
宇戸田代表理事  
会長

コロナワクチンの接種が早く進んで行けば経済の方も早く回復していくものと思われる。県の方にもこれまで水産業関連の支援を頂き、お礼を申し上げます。

コロナウイルスが拡大し始めた当初は、業種によっては影響が少ないものもあったが、これだけ影響が長引くと全ての業種、魚の種類にも影響が出ている。特に養殖真鯛において、昨年度のこの時期と比べて24万尾多い100万尾が出荷を待っているが、出荷できない状況。カンパチの方も18万尾多い47万尾が出荷を待っている。国や県の支援もいただきながら、引き続き頑張っていきたい。

宮崎県森林組合  
連合会  
長友代表理事  
会長

私どもの業界は、皆様方に本当に申し訳ないが、コロナに関して直接的に大きな影響は受けていないが、国際的な需要による間接的なコロナの影響というのは、多少ある。先日発表された、令和2年の木材統計によると、宮崎県のスギ素材生産量が173万tで、30年連続日本一になった。また製品についても、広島県を抜いて日本一になった。

最近の木材価格の動向については、アメリカの旺盛な住宅需要を背景に、世界的な木材不足と価格高騰、ウッドショックと言われているような状況になっており、4月以降、県内の原木価格も急騰している。そのウッドショックだが、原木や製品を含めた木材が不足をしているということでは、業界の川上川下共通認識

である。ただ、川上側と川下側で多少受け取り方が違っている。川上側からすると、原木価格が上昇をするということは、好意的に受けとめられている。川下側からすると、最近ようやく反映されてきたと聞くが、製品価格になかなか反映されづらいということもあり、原木不足と、原木高、この二重苦になっていると言われている。このような製品高の原木不足や木材不足が続くと、木材離れが出てくるのではないかとということを心配している。

また、原木価格の大幅な下落がどのタイミングで、またその幅がどれくらいになるのかということも非常に不安に思っている。価格、量ともに安定することを望んでいる。このウッドショックだが、森林所有者、伐採・搬出業者にとっては、収入増が見込まれるということがメリットとしてある。他に、森林所有者の森林への関心が高まってくるのではないかとという期待がある。

また以前から、木材価格が平均して1万5000円以上になれば、再生林に繋がるのではないかと言われてきてが、現実そのような状況になってきているので、再生林に繋がると良い。

直近の価格で、ABC材平均価格が1万7000円になった。A材は2万円、B材は1万7000円、C材は1万3000円程度になってるということで非常に値上がりしている。デメリットとしては、木材離れが出てくるのではないかとという心配がある。また、事例もあったが、価格が上がったことで、木材の盗難というような事態も起きている。

さらに、木材不足ということで、搬出に向けて力を入れているが、無理な作業による事故の発生ということも懸念している。いずれにしても、これは業界、川上川下側、一体となって取り組まないといけない問題であるため、ぜひ県のご指導も伺いながら、取り組んで参りたい。

宮崎県建設業協会  
藤元会長

建設業は直接的なコロナの影響がない業種であるが、会員企業へのガイドラインやコロナウイルス感染対策関連情報を常に提供し、会員企業に対しては日常的な感染予防対策をあらゆる面で徹底しているところである。外で行う仕事であるため、リモート等ができない職種ではあるが、現場との打ち合わせ等できる範囲でリモートを実施している。引き続き、感染をできるだけ広げないように日常的な感染対策の徹底を図っていきたい。

日本労働組合総連合会宮崎県連合会  
中川会長

先月、身近なところで30人近くがPCR検査を受けた。そのときに、非常に看護師の方々がスピーディーかつ各人に寄り添った対応をしてくださり、安心して検査を受けられたとのことだった。大変な状況が続くが、引き続き同様の対応をお願いしたい。先ほどの説明いただいた資料にもあったが、ワクチンへの期待が大きい。高齢者へのワクチン接種の7月末完了に向けて、医療従事者の方々の確保とその方々が休息を取れるような体制の構築をお願いしたい。

職場での感染リスクだが、休憩時間や喫煙所等になると気が緩みがちになるので、それぞれの職場でも感染者数が減少している今こそ再度感染予防を徹底することが重要だと改めて認識したので、各職場でできることをやっていきたいと思う。医療従事者をはじめ、頑張っているエッセンシャルワーカーの方々、すべての方に寄り添う宮崎県であって欲しい。知事も発信されているが、ぜひ経済団体の方々にも発信していただきたい。オール宮崎で暮らしやすい宮崎を実現していきたい。

宮崎県町村会  
黒木会長

我々町村では、ワクチン接種が1丁目1番地。ワクチン接種を早期に安全にスムーズに行う、これが今一番求められていることだと認識している。ただ、なかなか

か難しい町村も実はあるが、今回県による集団接種を計画いただいた。当初ワクチンの量が少なく、ワクチンの確保を要望していたが、当面分のワクチンは確保されているので、1日も早くこれを高齢者の方々に接種し、さらに、若者に接種していくと、経済への回復に大きく寄与してくると信じて、ワクチンの早期の接種に頑張っていきたい。

それから、長友会長が話されていた木材価格については、高くなったとは思っていない。むしろ、今までが低すぎたと思う。高かったものが低くなってそれが30年も40年も続いたので、これが通常の木材価格だと思われてしまったと思う。それが今戻りつつあると私は認識している。

宮崎県市長会  
戸敷会長

市長会としても、ワクチン接種が本当に大事なことだと考えており、今回の第4波は県独自での緊急事態宣言を、早急に出していただいた。その中でワクチンをいかに接種するかという苦労はしたが、現在の状況で、宮崎市であれば、65歳以上の方が約12万人おられるが、その方々のうち30%程度接種を行っている。市町村は独自のやり方で国の指示もありつつ、困惑の中、接種を進めている。皆様方にしっかりと応えていくためには、日常を取り戻す。そのためのワクチン接種だと考えている。皆様方にはご負担をかけている状況であるが、これも経済界の皆様も含めて協力をいただいた結果、早期かつ的確に第4波に対応できたのではないかと考えている。

昨日は、九州市長会をWeb会議で開催したが、様々な状況で国から降りてくる指示に対応できない市町村もある。ただ、集団接種、個別接種いずれも医師会等との連携が必要だと考えている。7割以上の集団の免疫を確保すれば大丈夫だと言われているが、やはり私どもとしては100%を目指さないといけない。このことによって、経済対策が生きてくると思っているので、市町村も関係団体と連携し行っていくことで効果を生み出すことが大事だと思っている。予算をいくら組んでも経済効果がないという状況は、国等にも支援をいただいているが、財政が非常に厳しい中で、関係機関が一丸となって取り組む必要があるので、引き続き御協力いただきたい。特に高齢者のクラスターが起こった宮崎市では、非常に心配をしていたが、今年あるいは来月には接種が終了するような状況を考えている。そして、その後一般の方々への接種を県市町村連携して進めていく。それが宮崎県にとっての本当の安心さつながるのではないかなと思う。

引き続きのご支援と御協力を賜りたいと考えている。

宮崎県商工会議  
所連合会  
宮崎県観光協会  
米良会長(会長)

年末に向けたプレミアム商品券の対策を県、市等々にお願ひできないか。

ジモ・ミヤ・タビキャンペーンも8月末までと期限が定められているが、これも年末まで延長できないか。時期の延長をお願いしたい。

それから、お金の話だが、昨年3～5月にお金を借りた方は第3波や第4波の中で資金を使い尽くして返済するにもお店を開けられない状況である。お店を開けても、様々な制限がある。返済期限の延長と新たな貸し付けをお願いしたい。

奨学金もコロナだからと言ってなくなるわけではない。

状況によっては、濃厚接触者になり得るが、家には子どもがいるため、家庭内感染が心配される。ホテルに宿泊しようにもホテル側も受け入れることが難しいということがあるため、ぜひ、そういった方々向けの待機場所を確保できないか。しっかりしている企業について雇用の心配はない。

昨年の修学旅行は県内実施という形で進めて頂き大変助かった。今年もぜひお願いしたい。

それと、最低賃金であるが、最低でも1,000円以上との話もあるが、この時期

になぜ最低賃金の話が出てこなければならないのか。現状をどうやって維持していくのかを考えている最中に、東京や名古屋のような大都市圏を軸に全国平均1,000円以上という考えをされると特に中小企業は厳しい。もっと議論する場を作っていたきたい。

それから、ワクチンの話だが、職場や職域等々での接種という話も耳にするが、職場ごとでの接種も考えられるが、問題は医師の確保である。

最後に、良い話をしたい。ゴルフは昨年の7月以降前年割れをしていないほど好調。第3波や第4波も関係なく、海外からのお客様の影響も関係なく、宮崎県内のゴルフ場は血気盛んである。特に若い方々の間でゴルフ人口が増えつつある。様々なことをお願いしたが、いろいろな形で今後もご支援いただければと思う。

宮崎県知事

様々なご指摘、ご意見を頂き感謝申し上げます。

国における事業の延長や財源・資金の確保という点で、適切に要望をしていく内容もあり、また現在の状況を踏まえて、検証や連携をしながら取り組んでいくべき課題もあり、しっかりと受け止めて参りたい。

まだまだ完全収束というわけではないが、落ち着きつつある第4波というものを見据えながらしっかりと経済雇用対策を打ち出すこと、また次なる例えば第5波のようなものを起こさないように対策を講じていきたい。

それから、1か月後に本県では国文祭・芸文祭が開幕する。また、約50日後に東京オリンピックパラリンピックも開催される。こういったしっかり管理したイベント事業はともかくとして、7月、8月は人の移動が多い時期になるが、それが今回の大型連休と同じようなことにはなってはいけない。適切に人を呼びつつ、また適切に経済を回しつつも感染をいかに抑えていくか、このバランスをしっかり取りながら、本日いただいた課題やご指摘に取り組んで参りたい。

そして、ワクチン接種も早期に進めていく努力も行いたいと思う。